

3. 経管栄養

指導者評価票

- (1) 「基本研修・演習」胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 指導者評価票
- (2) 「基本研修・演習」経鼻経管栄養 指導者評価票
- (3) 「実地研修」胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 指導者評価票
- (4) 「実地研修」経鼻経管栄養 指導者評価票

指導者氏名	
介護職氏名	

(1) 経管栄養「基本研修・演習」
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 指導者評価票

演習において、当該介護職員は、下記業務内容について、どの程度達成できていますか。

※業務内容については、手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと

評価	ア.手引きの手順通りに実施できている
	イ.この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた
	ウ.この項目について、抜かした

		回数	例	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目
		月日	10.5					
		時間	14:00					
準備	1	医師の指示等の確認を行う	ア					
	2	手洗いをを行う	ア					
	3	必要な物品を準備する	ア					
	4	指示された栄養剤(流動食)の種類・量・時間を確認する	ア					
	5	経管栄養の注入準備を行う	ア					
	6	準備した栄養剤(流動食)を利用者のもとに運ぶ	ア					
実施	経管栄養の実施	7	利用者に本人確認を行い、経管栄養の実施について説明する	ア				
		8	注入する栄養剤(流動食)が利用者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する	ア				
		9	経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に接続する	ア				
		10	注入を開始し、注入直後の様子を観察する	ア				
		11	注入中の表情や状態を定期的に観察する	ア				
		12	注入中の利用者の体位を観察する	ア				
		13	注入物の滴下の状態を観察する	ア				
		14	挿入部からの栄養剤(流動食)のもれを確認する。	ア				
		15	注入中に利用者の状態を観察する	ア				
		16	注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する	ア				
		17	クレンメを閉め、経管栄養チューブの接続を外し、半坐位の状態を保つ	ア				
報告	18	注入後、利用者の状態を観察し、報告する	イ					
	19	体位交換が必要な利用者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する	ア					
	20	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)	ア					
片付け	21	環境を汚染させないように使用物品を速やかに後片付けする	ア					
記録	22	実施記録を記載する	ア					
アの個数※			21					
<p>※指導内容を具体的に記述して下さい</p> <p>手引きの留意事項・考えられる主なリスク等に 記載されている細目レベルで記述</p>								

**(2)経管栄養「基本研修・演習」
経鼻経管栄養 指導者評価票**

演習において、当該介護職員は、下記業務内容について、どの程度達成できていますか。

※業務内容については、手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと

評価	ア.手引きの手順通りに実施できている
	イ.この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた
	ウ.この項目について、抜かした

		回数	例	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目
		月日	10.5					
		時間	14:00					
準備	1	医師の指示等の確認を行う	ア					
	2	手洗いをを行う	ア					
	3	必要な物品を準備する	ア					
	4	指示された栄養剤(流動食)の種類・量・時間を確認する	ア					
	5	経管栄養の注入準備を行う	ア					
	6	準備した栄養剤(流動食)を利用者のもとの運ぶ	ア					
実施	経管栄養の実施	7	利用者に本人確認を行い、経管栄養の実施について説明する	ア				
		8	注入する栄養剤(流動食)が利用者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する	ア				
		9	経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に接続する	ア				
		10	注入を開始し、注入直後の様子を観察する	ア				
		11	注入中の表情や状態を定期的に観察する	ア				
		12	注入中の利用者の体位を観察する	ア				
		13	注入物の滴下の状態を観察する	ア				
		14	注入中に利用者の状態を観察する	ア				
		15	注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する	ア				
		16	クレンメを閉め、経管栄養チューブの接続を外し、半坐位の状態を保つ	ア				
報告	17	注入後、利用者の状態を観察し、報告する	イ					
	18	体位交換が必要な利用者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する	ア					
	19	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)	ア					
片付け	20	環境を汚染させないように使用物品を速やかに後片付ける	ア					
記録	21	実施記録を記載する	ア					
アの個数※			20					

※指導内容を具体的に記述して下さい

手引きの留意事項・考えられる主なリスク等に
記載されている細目レベルで記述

**(3)経管栄養「実地研修」
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 指導者評価票**

あなたが指導している介護職員は下記の業務内容について、どの程度達成できているか該当する番号を記入して下さい。
※業務内容については、手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと

達成度	ア.1人で実施し、手引きの手順通りに実施できている
	イ.1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導した
	ウ.1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、その場で指導した(その場では見過ごせないレベル)
	エ.1人での実施を任せられるレベルにはない

回数		例	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目
月日		10.5					
時間		14:00					
準備	1 医師の指示等の確認を行う	ア					
	2 手洗いをを行う	ア					
	3 必要な物品を準備する	ア					
	4 指示された栄養剤(流動食)の種類・量・時間を確認する	ア					
	5 経管栄養の注入準備を行う	ア					
	6 準備した栄養剤(流動食)を利用者のもとに運ぶ	ア					
実施	7 利用者に本人確認を行い、経管栄養の実施について説明する	ア					
	8 注入する栄養剤(流動食)が利用者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する	ア					
	9 経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に接続する	ア					
	10 注入を開始し、注入直後の様子を観察する	ア					
	11 注入中の表情や状態を定期的に観察する	ア					
	12 注入中の利用者の体位を観察する	ア					
	13 注入物の滴下の状態を観察する	ア					
	14 挿入部からの栄養剤(流動食)のもれを確認する。	ア					
	15 注入中に利用者の状態を観察する	ア					
	16 注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する	ア					
	17 クレンメを開め、経管栄養チューブの接続を外し、半坐位の状態を保つ	ア					
報告	18 注入後、利用者の状態を観察し、報告する	イ					
	19 体位交換が必要な利用者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する	ア					
	20 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)	ア					
片付け	21 環境を汚染させないように使用物品を速やかに後片付けする	ア					
記録	22 実施記録を記載する	ア					
アの個数※		21					
※指導内容を具体的に記述して下さい 手引きの留意事項・考えられる主なリスク等に 記載されている細目レベルで記述							

**(4) 経管栄養「実地研修」
経鼻経管栄養 指導者評価票**

あなたが指導している介護職員は下記の業務内容について、どの程度達成できているか該当する番号を記入して下さい。

※業務内容については、手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと

達成度	ア.1人で実施し、手引きの手順通りに実施できている
	イ.1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導した
	ウ.1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、その場で指導した(その場では見過ごせないレベル)
	エ.1人での実施を任せられるレベルにはない

回数		例	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目	
月日		10.5						
時間		14:00						
準備	1 医師の指示等の確認を行う	ア						
	2 手洗いをを行う	ア						
	3 必要な物品を準備する	ア						
	4 指示された栄養剤(流動食)の種類・量・時間を確認する	ア						
	5 経管栄養の注入準備を行う	ア						
	6 準備した栄養剤(流動食)を利用者のもとの運ぶ	ア						
実施	7 利用者に本人確認を行い、経管栄養の実施について説明する	ア						
	8 注入する栄養剤(流動食)が利用者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する	ア						
	9 経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に接続する	ア						
	経管栄養の実施	10 注入を開始し、注入直後の様子を観察する	ア					
		11 注入中の表情や状態を定期的に観察する	ア					
		12 注入中の利用者の体位を観察する	ア					
		13 注入物の滴下の状態を観察する	ア					
		14 注入中に利用者の状態を観察する	ア					
		15 注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する	ア					
	16 クレンメを閉め、経管栄養チューブの接続を外し、半坐位の状態を保つ	ア						
報告	17 注入後、利用者の状態を観察し、報告する	イ						
	18 体位交換が必要な利用者に対しては、異常が無ければ体位交換を再開する	ア						
	19 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)	ア						
片付け	20 環境を汚染させないよう使用物品を速やかに後片付けする	ア						
記録	21 実施記録を記載する	ア						
アの個数※		20						
<p>※指導内容を具体的に記述して下さい</p> <p>手引きの留意事項・考えられる主なリスク等に 記載されている細目レベルで記述</p>								